

創刊号

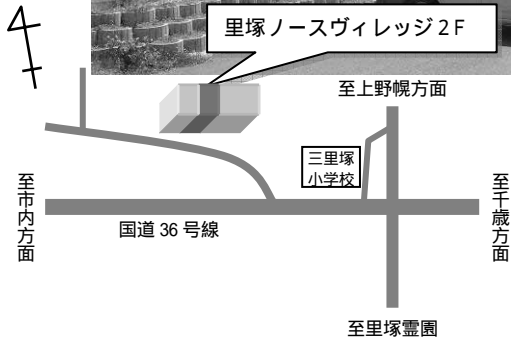
2004. 10. 1
発行

里塚・美しが丘地区町内会連合会

札幌市清田区里塚2条6丁目1-3
里塚ノースヴィレッジ2階
電話011-884-1210



里塚ノースヴィレッジ2F



町内会連合会広報誌発行にあたり



里美地区町内会連合会
会長 加来 博

私達の町連は平成9年4月1日付で発足いたしました。当時の記録によれば、18単町で登録世帯数は7千126となっており、7年後の今では25単町で約9千711世帯と膨張いたしました。町連活動の一つとして町連便りの発行を望むと存じます。

声が数年前よりございまして、この様な世論にこたえべくして、今回初めて第1号を発行することになりました。編集委員には各単町に於いて編集を手掛けている方々をお願いいたしましたことを申し添えておきます。今年度は予算の関係で年1回の発行になりました。

町内会連合会って何ですか？

「町内会連合会」を良くわからないという方が多いのではないのでしょうか？簡単に言えば読んで字のごとく「単位町内会」(一般的な町内会)が集まった組織のことです。

町内会連合会の規模

平成16年1月1日現在、札幌市全部で、単位町内会は、実に「2千144」もあります。そして、これらの単位町内会は「90」の「町内会連合会」というグループに所属しています。

一番小さな町内会連合会は、2つの単位町内会からできている「手稲区山口連合町内会」、一番大きな連合町内会は、113の単位町内会からできている「南区 真駒内連合町内会」です。平均的には、10から30くらいの町内会が集まっているところが多いようです。

町内会連合会の始まり

第二次世界大戦中の昭和15年に札幌市に特有の

相談役 大井 洋一



監事 長谷川 俊



防災部長 木村 利法



青少年育生部長 山部 明夫

副会長 橋 弘



福祉厚生部長 土門 一夫



防犯部長 秋田谷 孝文



女性部長 藤木 靖子

監事 田畑 富男



環境衛生部長 黒田 長九郎



交通安全対策部長 山田 武



体育部長 鎌田 清春

区の行政とのかかわり

このような歴史的経過から「区」は、札幌市政、とりわけ「区の行政」と非常に緊密な関係があります。「町内会連合会」の実質的な事務局が、連絡所(本年4月1日より「まちづくりセンター」に名称変更)におかれているゆえんでもあります。

従って、市内の「町内会連合会」は、おおむね市内に87ある「まちづくりセンター」と対をなしています。

政令都市後の役割

昭和47年、札幌市は政

役員紹介



監事 田畑 富男



副会長 橋 弘



相談役 大井 洋一



環境衛生部長 黒田 長九郎



福祉厚生部長 土門 一夫



監事 長谷川 俊



交通安全対策部長 山田 武



防犯部長 秋田谷 孝文



防災部長 木村 利法



体育部長 鎌田 清春



女性部長 藤木 靖子



青少年育生部長 山部 明夫

第8回里塚美しが丘地区

総会開催される

里美町連の定例総会が4月25日、清田区民センターで開催されました。役員、代議員あわせて71人の出席と委任状19人の合計90人の出席で総会が成立。

会長、来賓の中野清田区長の挨拶の後、丹野勝・羊ヶ丘通町内会長が議長として選出され、議事がすすめられました。平成15年度に行なわれた事業と決算が報告され、平成16年度の事業計画案とそれともなう予算が承認されました。その他の項目ではパークシ

世代を超えた人気講座

パソコン講座

総務部事業

平成14年度から町連では「パソコン講習会」を開催しています。昨年度は年4回それぞれ3日間の講習でしたが、毎回予想を上回る参加希望者、世代を超えたパソコン人気に主催した町連も嬉しい悲鳴をあげました。第1回、第2回は初心者を対象とした文字入力とインターネット、メールなどの基本操作を、第3回と4回目はスクリーンやデジタルカメラを使っての画像づくりを学ぶものでした。みなさんは熱心



に取り組んで、意欲満々。今年度は9月から12月の4回開催されます。11月12月の開催日についてはお問い合わせください。

ごみ処理について考える

環境衛生部研修

環境衛生部事業

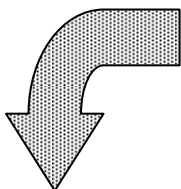
今回の研修は、みなさんが出しているゴミがどの様なかたちで処理されているかを自分(役員)の目で確かめることを目的とし開催致しました。

参加者は、各町内会衛生部長と副部長の範囲に致しましたのは、パンフレット等で市役所の宣伝物がありますが、実際にみなさんが出したゴミがどの様に処理されているかを知らないのが実態と思いい各町内会で環境衛生責任者である方々の研修会と致しました。

篠路工場・プラスチック選別センター・資源物選別センターで担当の方



の話された内容の通りにきちんと分別しなければと強く実感したという感想が寄せられました。



町連女性部も参加

ザ・パレード2004

女性部事業

大通公園で8月14日から開かれていた北海盆踊りが20日「ザ・パレード」でフィナーレを迎えました。2千人を超える市民が大通公園西6丁目から8丁目の路上を元気いっぱい練り歩きました。

清田区からも5町連の女性部200人が参加。里美町連女性部40人も黒と黄色のそろいの浴衣姿であでやかに踊りました。



安全運転のよびかけ

交通安全街頭啓発

交通安全対策部事業

清田区5町連最後の交通安全街頭啓発が、7月15日、里美地区25町内



会の約200人で、国道36号線コーチャンフオー前で行われました。夏の交通安全市民総ぐるみ運動の一環として実施されたものです。道路両側2百メートルにおよびタスキ・手旗で通行車両に安全運転をアピールしました。

里美地区の子どもたちを守る会

子どもを見守る会

青少年育成部事業

平成16年度の会議が7月7日羊ヶ丘通町内会館で開かれました。今年で5回目となるこの会議には、平日の午後7時から開会にもかかわらず、200人を超す出席者で、2時間に及び子どもたちの育成・活動にかかわっている部門からの報告がありました。地域の子どもたちが安心して生活できる町づくりへの取り組みが、多くの場で考え進められています。今後ともそれぞれの立場で協力を約束して終了しました。



万二に備えて

防火・防災講習会

防災部事業



平成15年度

今年度の防火・防災講習会が9月26日、清田消防署・里塚出張所で開催されました。建物から避難する時のロープ結索訓練、家庭用毛布と棒切れを使った応急担架の作成、119番通報訓練等が実施されました。

平成16年度の主な事業

- 総会 (4月25日)
- 子どもを守る会 (7月7日)
- 交通安全街頭啓発 (7月15日)
- パークゴルフ大会 (7月17日)
- 理事一日研修会 (7月22日)
- 資生館小学校視察研修 (7月22日)
- 環境衛生部見学研修 (7月23日)
- 北海盆踊り (8月20日)
- ザパレード2004 (9月7日)
- 大曲連町との交流会 (9月7日)
- パソコン講習会 (9月、12月)
- 防火・防災講習会 (9月26日)
- 青葉平岡通り開通式 (11月下旬)
- おはぎ弁当配り (2月予定)

福まちとの共同事業

ふれあいおはぎ弁当

福祉厚生部事業

福まちセンターが例年2月、70歳以上のひとり暮らしのお年寄りの方を対象に配っているふれあいおはぎ弁当。今年度は町連福祉厚生部が福まちと共催で実施します。



平成15年度



まもなく完成 青葉平岡通り完成



11月下旬に里塚緑ヶ丘地区と桂台地区が開通し、全長4.7キロメートルの都市計画道路が完成します。完成を祝って里美町連では開通式を開催する予定です。

里美地区が準優勝 清田区地区対抗 壮年野球大会

体育部事業



第7回清田区地区対抗壮年野球大会が8月22日清田公園野球場・サブグラウンドで開催されました。昨年3位だった里美町連チーム(代表・鎌田清春氏)は清田町連との第1試合を8対1のスコアで勝ち、平岡町連との決勝では壮烈な打撃戦の末、9対7で惜しくも準優勝となりました。

意義ある理事1日研修 資生館小学校見学

総務部事業



札幌市中央地域は年々人口が減少しドーナツ化現象と呼ばれる最悪の状態になりました。しかも少子化現象が追い討ちをかけ、周辺学校の児童数が激減し学校経営の面からいろいろな問題点が浮上しました。

札幌の開拓の歴史とともに歩み、教育の中心の実践をなした幾多の人材を育て上げてきた栄光のマンモス校も「統合」という問題を考えざるを得ない状況になりました。そのためには自校の閉校という悲しい現実が横たわっています。その悲しみを発展的な閉校！というプラス思考で乗り

越えるための努力が官民共同でなされ、その苦労は大変なものがあったと聞いています。

そんな条件を克服しようとした「創成小学校」「豊水小学校」「大通小学校」「曙小学校」の4校は、閉校の涙を開校の喜びにするために論議を重ね、将来を見据えた学校づくりに挑戦することとなったようです。

単なる学校づくりでなく多目的機能を持つ小学校の開校！という結論が最終的な決断だったと受け止めました。

創生小学校の跡地(中央区南4西7)に建てら

れ、1階は「子育て支援」や「開放型屋内体育館」2階は「幼児教育の場」や「特別教室」があり、3階以上に「教室」「屋内プール」「食堂」などがある北海道には例のない総工費45億円というスケールの大きい学校になりました。

壁のない教室(オープンスペース)や数人の教師がチームをつくり授業を展開する手法は、全道的な常識で清田区でも採用されていますが、乳幼児から幼児教育まで含めしかも、開放型屋内体育館もあり一般人(特に高齢者)も気軽に一休みできるオアシスのような公的施設は珍しく、今日的課題解決型の文教施設」と表現してもよいほどのユニークなものと言えます。

学校規模は地域の事情で大きく変動するものです。里美地区の人口の推移を見ても他人事ではありませぬ。

子育て支援施設、幼児教育施設、児童会館、など社会教育部門の施設をどう確保していくかを考えた時、10年後20年後を見据えた学校の活用を考える参考として、また里美地区の課題である「里美地区センター」づくりの大なる参考事例として得ることの大きい意義ある理事1日研修でした。



福まちって何ですか？

『福まちって何ぞー？』
 という話を耳にしますが、
 これは略称で、正式の名前は
 『福祉のまち推進センター』と言
 います。
 福まちは、札幌市では平成七年にスタ
 ートしましたが、地方では、『小地域福
 祉ネットワーク』と呼ばれているところ
 もありスタートも様々です。
 なぜ、このような活動が始まったのか
 という点、当時、ひとり暮らしの高齢者
 の方が死亡してから数日後に発見され
 るというシヨッキングなニュースが多
 発したことと、一方、地域の民生委員が
 多忙で手がまわらない状態があり、
 これを少しでも緩和したいという
 ことから、『安否確認』を目的と
 した組織が作られました。

里美地区福まちの誕生

清田区が豊平区から分区した時点でわか
 れることになっておりましたが、実際には
 平成10年度10月に分離しました。

わかれてからもう6年になりますが、こ
 の間の事業は皆さん知っての通りです。

平成16年度の事業

- 6月・・・カレーライス昼食会での交
 流会
- 7月・・・健康増進の一環として石狩
 番屋の湯入浴の事業
- 平成16年度中・・・各町内会の協力
 を得て独自で交流会を実施
- 11月・・・手づくり弁当の配布
- 17年2月・・・おはぎ弁当の配布
 (町連厚生部と福まちの共済事業)

今後の望ましい活動

福まち単独での活動は限界があります。
 今後は、町内会や諸団体との連携が不可欠であり
 ます。特に、子どもを見守る会や障害者の会
 などとの連携強化が重要になると思います。

福まちの目的

70歳以上でひとり暮らしの方々が『今日も元気
 でおられるか』の安否確認を行うことです。

- ◎ 外部からの確認
 新聞などを朝取って見ておられるか・・・夜電気の
 消灯具合は・・・台所や風呂などの水の流れの状態
 は・・・等々
- ◎ 内部からの確認
 できるだけ戸別訪問をして話し合う機会をつくり
 普段から親密度を測るよう努力しましょう。

組織図

《総会》

(最高の決議機関です)
 《構成員》

《運営委員》

- ・地区社協 3名
- ・町連役員 3名
- ・民生委員会 3名
- ・地区老人クラブ 3名
- ・地区推進員 3名

= 役割 =
 基本目標達成に必要な
 企画立案及び推進
 事業の決定実施

《推進員》

- ・各町内会 2名以上
- = 役割 =
 運営委員会で決定
 された事項の事業
 実施

編集後記

求められている
 情報は何か？から
 スタートした5単
 町5人と、里美まち
 づくりセンター長
 の編集スタッフ。新
 聞を始めとするあ
 らゆるジャンルの
 情報誌がある中で
 も委員の皆さんが
 手にとつて目を通
 してくれるものに
 したい。そんな思い
 でつくった創刊号
 です。

かたい内容に片
 寄らないように心
 掛けましたが、総会
 の意向に添ってい
 るでしょうか。
 評価のない今、自
 信をもってお届け
 しますが、次号へ向
 けて叱咤激励をお
 願ひします。
 良いスタッフに
 恵まれました。ご苦
 勞に拍手。

里塚・美しが丘地区町内会連合会
 副会長 中村 昭 氏
 平成16年6月4日永眠されました。
 中村氏は里美町連が清田町連からわか
 れた平成9年11月から町連の財務担当副会長
 としてこの地域のために貢献されてこられ
 ました。また、町連パソコン講座やこの町連
 だよりの創立についても中心的な役割を担
 つてこられました。
 ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



- 編集委員
- 委員長 金江 大次 (羊ヶ丘通)
 - 委員 小山内 國行 (美しが丘式番街)
 - 委員 山岸 静男 (こもれびの街)
 - 委員 大岩 雅子 (桂台)
 - 委員 高山 伸子 (里塚緑ヶ丘)
 - 委員 池田 勝 (編集工房)
 - 委員 杉本 雅章 (里塚・美しが丘まちづくりセンター)